



どうにかする力

泗水小学校だより
R5. 3. 6(月)
No. 49
校長 工藤竜一



泗水小学校
ホームページ

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

泗水小のよき伝統を伝え、受け継がれるバトン

3月に入り、いよいよ今年度も残り少なくなってきました。泗水小では、6年生の卒業とその他の学年の進級に向けた取組に熱が入っています。

6年生が卒業プロジェクトの一環として、校内の遊具等をペンキできれいに塗る作業をしてくださいました。ペンキの色がはがれていたタイヤやブランコなどが鮮やかによみがえりました。卒業を前に、母校や後輩のために頑張ってくださいました。ありがとうございました。

そんな6年生の思いを受け継ぐのが、来年度の最上級生である5年生です。送別遠足の日の「6年生を送る会」の内容を話し合う代表委員会は、5年生が進行しました。各学級の代表の意見を取り入れながら、6年生との最後の楽しい思い出ができるように、縦割り班で「全校かくれんぼ」をするということになりました。3月10日(金)の本番を前に、児童会を中心に、詳しいルールづくりや準備を頑張ってくれています。

最近の5年生の様子を見ると、大変頼もしく感じています。廊下で会うと、自分たちから進んで挨拶をするように心がけているのがわかります。授業の様子も、たいへん真剣に学習に取り組み、積極的に発言する姿があります。これからは、泗水小のリーダーとして学校を引っ張っていくんだという意欲にあふれています。

このようにして、泗水小のよき伝統のバトンは、次の後輩へ受け継がれていくのです。来年度、創立149周年を迎え、脈々と受け継がれてきた泗水小の伝統が、またさらに大きく飛躍することでしょう。本当に楽しみです。



タイヤにペンキを塗る
6年生の様子



5年生が進行した代表
委員会の様子



5年2組のタブレットを
活用した授業の様子

☆校長室から独り言46☆

「授業は、世界や社会をつなぐ窓」～授業が子どもの未来を切り拓く～

小学生が1年間に受ける授業の時間数をご存じですか?…1年生が850時間、4年生から6年生が1015時間です。小学校の1時間の授業は45分ですから、授業の1015時間は実質約761時間になります。このように莫大な時間を授業に費やしており、「学校教育の中心は授業である」といえます。そのため、私たち教師は、「教師は授業で勝負する!」を合言葉に、子どもたちに学ぶ喜びを味わわせ、学力を向上させる授業をしたいと、日々、授業研究や授業準備に多くの時間を割いています。

先日、ある中学校の校長先生の実践発表を聞きました。その中で、「授業は、世界や社会をつなぐ窓」という言葉があり、とても共感しました。私は、「授業は、(子どもたちと)世界や社会をつなぐ窓」と解釈しました。

インターネットが発達した現代では、自宅に居ながら世界と情報を共有することができます。しかし、子どもたちは、興味がある事柄についての情報や知識を身につけることはできても、それだけで「世界や社会」とつながったとは言えないと思います。小学校では、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動と様々な教科や領域の授業を行います。発達段階に応じて幅広い内容を学びます。まさに、子どもたちと世界や社会をつなぐ窓の役割をしているのが授業です。その授業を公立小・中学校は無料で受けられます。学校を休んでしまって、授業を受けないのはもったいないと思います。

ある時期、「学校は友達をつくる場所。勉強は塾でするもの。」という考えが広がっていたように思います。私は、「学校は勉強する場所。勉強をする中で、友達ができ、様々なすばらしい体験ができる場所。」と子どもたちに話しています。どんなに先生方が一生懸命に授業の準備をしても、子どもたちが登校してくれないことには学力はつけてあげられません。子どもさんを学校へ送り出すのは、ご家庭の力に頼るしかありません。

子どもさんと世界や社会をつなぎ、基礎学力を身につけ、未来を切り拓く力をつけるには、まずは学校へ登校し、授業を受けることから。ご家庭でのご支援をよろしくお願いします。